



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ 2010 推進ニュース

—介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう！—

方針「今後の介護ウェーブの取り組みについて」を具体化し介護改善要求の声を国会に届けよう！

「事前の準備含めて楽しく行動に参加でき元気が出ました」
 「介護の日」宣伝・署名行動、介護なんでも110番を実施(福島)

11月13日に、福島県民医連と福島県医労連の共同で介護ウェーブが取り組まれました。福島駅前通りで署名と宣伝行動を行いました。参加者はわたり福祉会から37名で、医労連と県連事務局合わせて全体で47名が参加。2時から3時までの1時間で216筆の署名が集まりました。前回までは、看護・介護ウェーブとして取り組まれていましたが、今回は介護を中心に、制度の改善を求める署名と訴えを行いました。わたり福祉会からは若い職員が多く参加し、「事前の準備含めて楽しく行動に参加でき、元気が出ました」と話していました。また、11月11日の「いい介護の日」では、介護なんでも110番を県社保協主催で実施しました。電話相談にはケアマネジャー、MSWの他に労働相談のスタッフを配置して望みました。当日は20件の電話相談が有り、その後も数件の相談電話が県連に届いています。取り組みは地元のテレビでも数回にわたり放映され、「テレビやラジオを聞いて電話相談のことを知りました」と、実際の介護サービスを利用するにあたっての相談や、必要なサービスが受けられないと言った不満などの電話が多く寄せられました。

(2010年11月15日 福島県民医連事務局 鈴木達也さんより)



地域包括支援センターの主任は、目立つようにパンダの着ぐるみを準備しアピール(岩手)



11月11日正午から45分間、盛岡市内を中心部で宣伝・署名行動を行い132筆が集約されました。県社保協として5団体・20人、そのうち岩手民医連から11人が参加。岩手日報が取材にきました。地域包括支援センターの主任は、目立つようにパンダの着ぐるみを準備しアピール。署名に協力してくれた市民は、「94歳の家族を介護している。自己負担が高く介護サービスを制限しているが、家族での介護も限界」「年金が3万円しかもらえない介護サービスを受けられない」「自分はOTをしているが、制度上の制限のため、患者・利用者に十分なサービスできずに毎日悔しい思いをしている」と話していました。

(2010年11月11日 岩手県民医連 吉田事務局長より)



「介護職部会」公開学習会(10月27日)に101名が参加(大阪)



2010年10月27日(水)に、介護職部会公開学習会が行われました。多くの介護職員が中心となって参加されていましたが、他職種からの参加もあって、101名の参加者となりました。ありがとうございます!!学習会では、講師に日下部雅喜氏(大阪社保協介護保険対策委員)をお招きして、「介護保険改定の動向」～地域包括ケアにもふれて～をテーマに講演をしていただきました。2012年に診療報酬・介護報酬同時改定されるにあたり、来年1月から始

まる通常国会へ向けた介護保険改正案をまとめた会議を、社会保障審議会介護保険部会で進めており11月にまとめが行われます。こうした中、2012年同時改定では医療・介護一体改革が行われ、2025年には団塊の世代が後期高齢期に達するのを見据えて改定が行われることや、地域包括ケアシステムについて分かりやすく講義をしていただきました。その後、6月から7月に行われた大阪民医連で初めての取組となった他事業所交換研修で、グループホームかわち野、小規模多機能ホームだいこくさんから受入事業所として、デイサービスセンターあいあい、デイサービスひまわりから研修に参加して、矢島委員長からまとめの報告が行われました。「他事業所交換研修は継続してやって欲しい」など感想が寄せられていました。今回のアンケートを参考に、第2回目も開催できるよう介護職部会運営委員会で検討していきます。(大阪民医連 介護福祉ニュースVol.4 2010年11月4日より)

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp